

岡本 清次 氏（４６歳）

<経歴>

大阪出身、以前は飲食店（自営業）を営んでいました。
令和元年に若狭町に移住。

<移住した理由>

自分の経験を活かした仕事に携われるお話を頂けたので移住を決心しました。

<移住までの流れ>

若狭町に在住の男性がお店を利用した際、お話を交換する中で、その事業や地域に興味を持ち、新しい土地で活躍してみたいということもあって、その会社の代表と対面し、仕事を手伝いながら、住むところが見つかり、家族で移住を決断しました。

<移住して思うこと>

移住して苦労が続きますが、少しずつ自分のやりたいことが形になって行えるようになってきました。例えばリレーマラソンや、里山を活用した山を走る「トレイルランニング」のイベントを開催する事が出来ました。

私はスポーツが好きです。その愛好する趣味を活かしてイベントなどを開催し、若狭町に訪れるきっかけを増やしたいと考えています。

若狭町にはきれいな田園風景が広がり、そこでサイクリングや、ジョギングを行います。

遠く見渡せば立派な山並みがあり、そこでハイキングや、トレイルランニングを行います。

海や、湖で、カヤックや、SUP など、自分の愛好するアクティビティを通じて、訪れたゲストを思う存分、楽しんで頂ける環境が若狭町には整っています。

実際に私を訪ねて若狭町へ訪れる人には、都会と比べ人工物が少ない自然豊かな場所へ案内し、四季折々、はっきりと変化を感じられる五感をご案内しています。

過去には米の収穫を数か月に渡り手伝う事が出来ました。畑仕事中、ふと目をそらせば、そこにはつがいのコウノトリが羽を休ませる姿を観察出来たり。都会のオフィスワークでは絶対に得られない環境が、若狭町には数多く存在し、様々な体験談を伝えています。

私が若狭町に来て、一番に好きになった山は「三十三間山」です。時間があれば足を運び、その自然の魅力に、五感を研ぎ澄ましています。

しかし風力発電の開発が計画され、今現在、山頂付近では風力を調査するために、大型の人工物が数多く設置されています。もしこの計画事業が前進すると、今までの山並みが破壊され、もう二度と同じ景色が見れなくなるかもしれません。

ありのままの自然にはもう手を加えないでほしい。次世代後世にまで、この自然豊かな景色を伝承するためにも、地域住民が一体になり、声を上げるべきだと感じます。

<地域とのつながりについて>

集落の総出や奉仕活動など地域活動に参加させて頂いています。私の自宅の裏山には、集落が見渡せる展望台があり山の整備活動に参加しています。

<まちでの暮らしについて>

仕事について。都会と比べれば選ぶ選択肢は狭く、場合によっては近隣の市町へ勤めに行く必要があります。

買物など。私が住む地域は大型のスーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア、消防、交番、郵便局、駅など一通りそろっており、暮らしに関しては、困る事はありません。楽天市場、Amazon などネット通販に関しては、都会と同じくらいのスピードで商品が手元に届きます。

保育園について。若狭町の保育は待機児童ゼロなので、都会と比べ保育難民になる心配はありません。設定保育がなく、伸び伸びと遊び学べるので、それが合う子供や保護者にとっては最高の環境だと思います。

小学校について。一クラスの人数が 10 名前後、全校生徒が 100 名未満の学校が多いと思います。席替えはあっても、学年でクラス替えはありません。

水道代について。我が家では移住前は4人家族で「2か月」3000円程度でしたが、若狭町に移住後は「毎月」1万円前後が必要です。医療費、ガソリン、アルコール飲料などより、一番高価な出費です。

<移住を検討されている方に一言>

都会と比べれば田舎は移住者（引っ越ししてくる人）が少ないので、地域に馴染むまで、時間を要する事があるかも知れません。都会は人の数だけ多様性が存在し、様々な意見や考え、選択、合意があり、生活環境がそこに存在すると思います。

移住前に様々な方から話を伺い、決断されることをお勧めいたします。

最後に。誰も聞いてないけど、私は若狭町に移住して後悔はしていません。

(2023,12,18 第一回インタビュー)